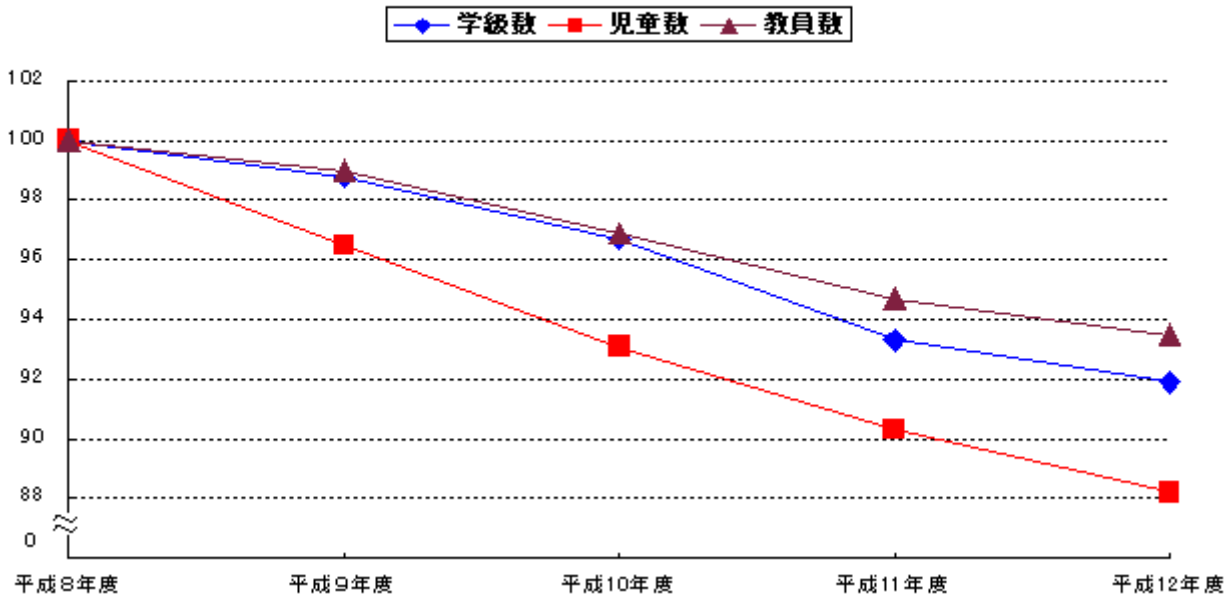


1 小学校

小学校は前年度より1校減少し290校（うち国立1校、私立2校）で、児童は48,147人と前年度に比べ1,162人減少した。そのため、学級も2,111学級と前年度と比べ34学級減少し、本務の教員も3,415人と45人減少した。

図1 小学校の児童数、学級数、本務教員数の推移
(平成8年度=100)



1学級当たり児童では22.8人と前年度に比べ0.2人減少し、本務教員1人当たりでは14.1人と0.2人減少し、ここ数年減少傾向にある。

長期欠席児童（前年度間に通算30日以上欠席した児童）は、534人で前年度に比べ58人減少し、全児童に占める比率（長欠率）は、1.11%と前年度より0.09ポイント減少した。

表1 小学校理由別長期欠席児童(30日以上欠席した児童)数

(単位：人)

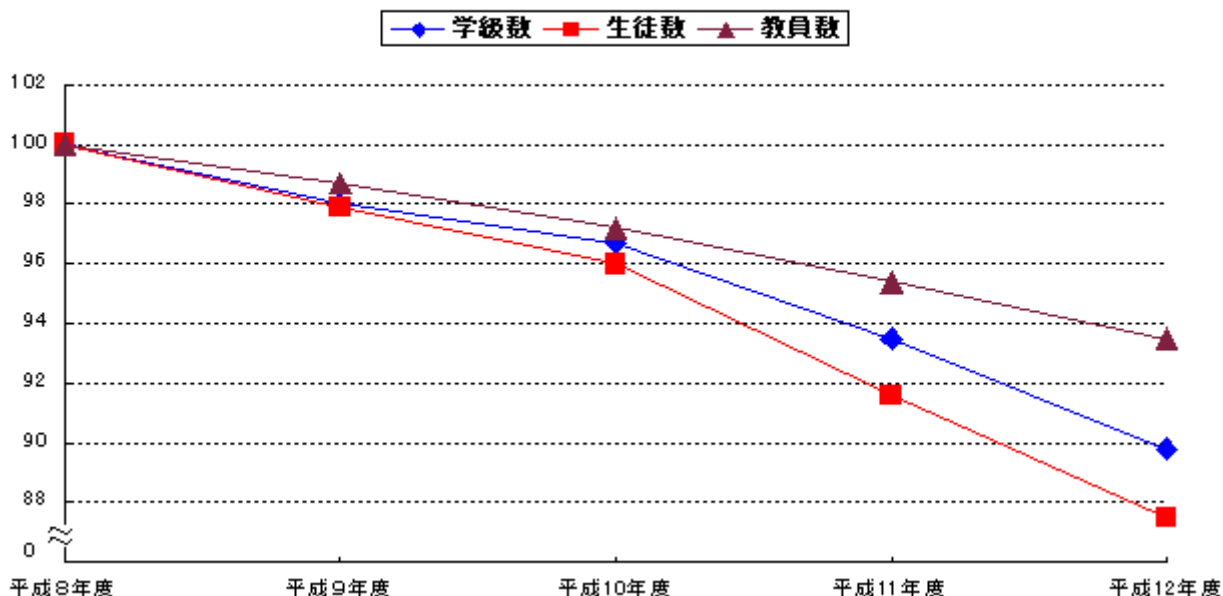
区分	理由別児童数					長欠率
	計	病気	経済的理由	不登校	その他	
平成7年度	501	327 (65.3)	13 (2.6)	86 (17.2)	75 (15.0)	0.88
平成8年度	560	347.0 (62.0)	15.0 (2.7)	106.0 (18.9)	92.0 (16.4)	1.03
平成9年度	611	362.0 (59.2)	30.0 (4.9)	118.0 (19.3)	101.0 (16.5)	1.16
平成10年度	592	329.0 (55.6)	14.0 (2.4)	173.0 (29.2)	76.0 (12.8)	1.2
平成11年度	534	274.0 (51.3)	1.0 (0.2)	181.0 (33.9)	78.0 (14.6)	1.11

(注) 括弧は構成比 (長欠率)=(長期欠席児童数)÷(児童数)

2 中学校

中学校は前年度より1校減少し97校（うち国立1校、私立2校）で、生徒は27,475人と前年度に比べ1,291人減少した。そのため、学級も903学級と前年度に比べ38学級減少し、本務の教員も2,094人と前年度より41人減少した。

図2 中学校の生徒数、学級数、本務教員数の推移
(平成8年度=100)



長期欠席者は974人と前年度に比べ76人減少し、長欠率も3.55%と0.1ポイント減少した。

表2 中学校理由別長期欠席生徒（30日以上欠席した生徒）数
(単位：人)

区分	理由別児童数					長欠率
	計	病気	経済的理由	不登校	その他	
平成7年度	811	280 (34.5)	12 (1.5)	342 (42.2)	177 (21.8)	2.59
平成8年度	896	284.0 (31.7)	11.0 (1.2)	441.0 (49.2)	160.0 (17.9)	2.85
平成9年度	932	293.0 (31.4)	14.0 (1.5)	515.0 (55.3)	110.0 (11.8)	3.03
平成10年度	1050	212.0 (20.2)	13.0 (1.2)	759.0 (72.3)	66.0 (6.3)	3.65
平成11年度	974	171.0 (17.6)	4.0 (0.4)	723.0 (74.2)	76.0 (7.8)	3.55

(注) 括弧は構成比 (長欠率)=(長期欠席児童数)÷(児童数)

3 高等学校

高等学校は前年度と同じ53校（うち私立4校）で生徒28,653人と前年度に比べ689人減少した。そのため学級も800学級と前年度に比べ20学級減少し、本務の教員も2,193人となり42人減少した。

学科別生徒数をみると普通科が19,636人と最も多く、次いで商業科3,199人、工業科3,010人の順になっている。

また、この構成比を年次別で見ると、総合学科は若干構成比を伸ばしているが、他の学科では同じか減少している。

表3 高等学校学科別生徒数構成比
＜全日＋定時＞（本科）計

（単位：%）

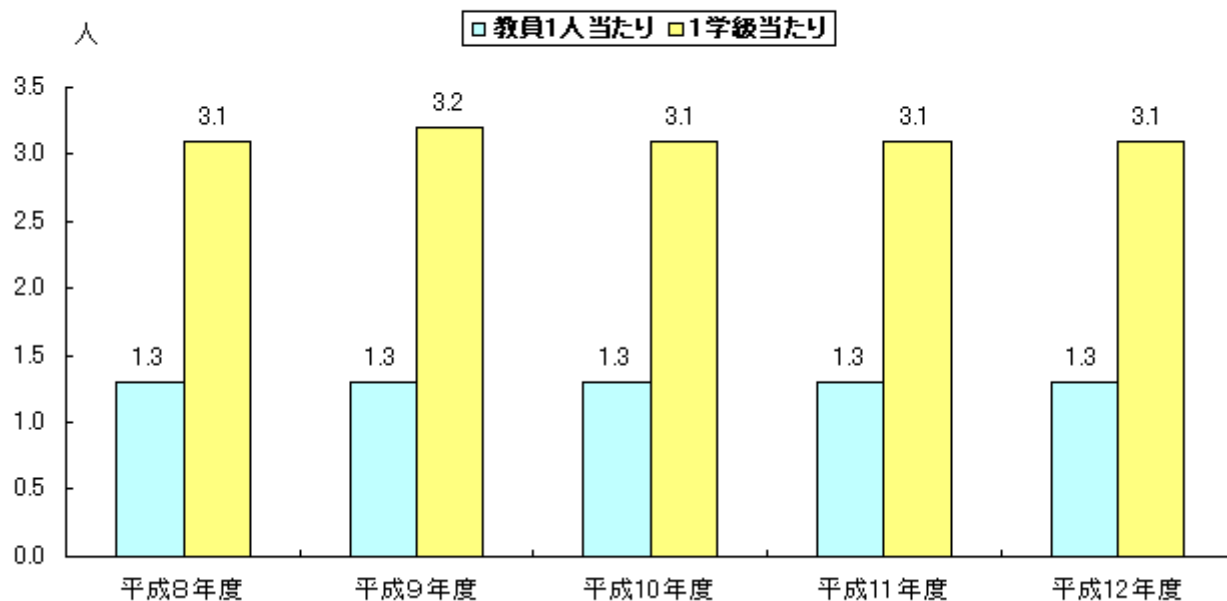
年度	計	普通	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	その他	総合
平成8年度	100.0	65.8	3.7	10.5	14.9	0.6	2.5	0.8	1.2	-
平成9年度	100.0	67.1	3.5	10.5	13.7	0.6	2.2	0.8	1.2	0.5
平成10年度	100.0	68.1	3.5	10.5	12.5	0.6	1.8	0.8	1.3	1.0
平成11年度	100.0	68.8	3.5	10.4	11.6	0.6	1.6	0.8	1.4	1.3
平成12年度	100.0	68.7	3.7	10.5	11.2	0.6	1.6	0.8	1.4	1.5

4 盲・聾・養護学校

特殊教育諸学校は盲学校 1 校、聾学校 1 校、養護学校 8 校で前年度と同じだが、児童・生徒は盲学校 74 人（前年度比 8 人減）、聾学校 44 人（前年度比 2 人減）、養護学校 668 人（前年度比 15 人増）と全体で 5 人増加した。学級は盲学校 21 学級、聾学校 19 学級、養護学校 210 学級と全体で 4 学級減少した。本務教員は盲学校 61 人（前年度比 3 人増）、聾学校 54 人（前年度比 3 人減）、養護学校 497 人（前年度比 10 人増）と全体で 10 人増加した。

また、本務教員 1 人当たりの在学者は盲・聾・養護学校全体で 1.3 人と前年度並であった。

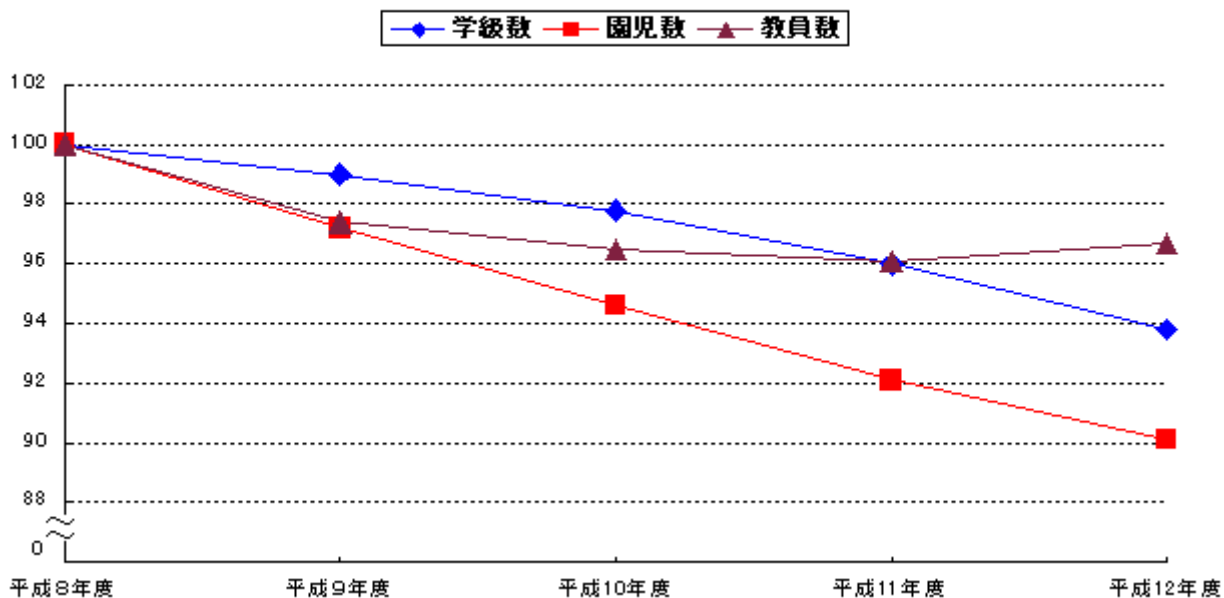
図3 盲・聾・養護学校の教員1人当たり在学者数及び1学級当たり在学者数



5 幼稚園

幼稚園は前年度より1園減少し240園（うち国立1園、私立13園）で、在園者も10,167人と224人減少した。学級は543学級と13学級減少し、本務教員は768人と5人増加した。

図4 幼稚園の園児数、学級数、本務教員数の推移
(平成8年度=100)



小学校第1学年児童数に対する幼稚園修了者数の比率

$$\frac{\text{本年3月幼稚園修了者数}}{\text{本年度小学校第1学年児童数}} \times 100$$

は全国平均61.1%を大きく上回る75.7%である。

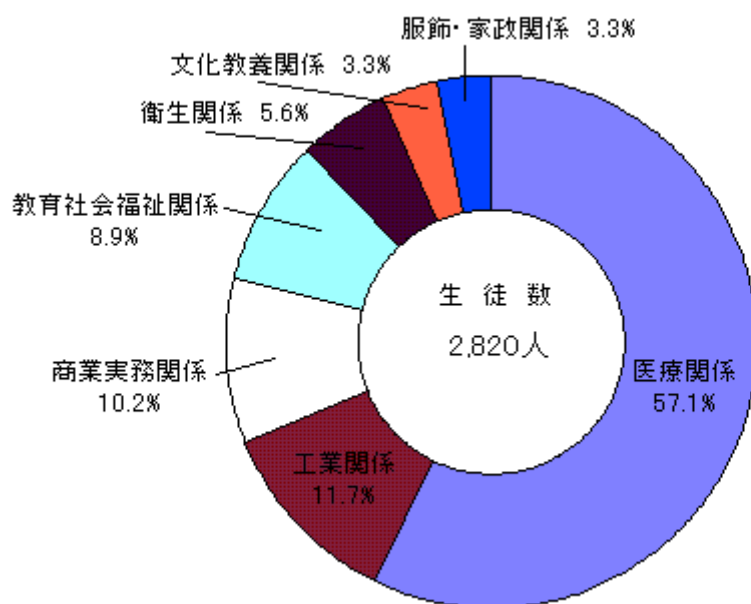
6 専修学校

学校は前年度より1校増加し28校（国立2校、公立2校、私立24校）であり、また県全体の学科は39学科であった。

生徒は2,820人（国立176人、公立688人、私立1,956人）と前年度より121人増加した。

生徒数の内訳では、医療関係が最も多く57.1%を占めている。次いで工業関係11.7%、商業実務関係10.2%となっている。

図5 専修学校分野別生徒数構成比



7 各種学校

学校は前年度より1校減少し26校（全て私立）で、課程は前年度より2課程減少し27課程であった。生徒は718人と前年度より98人減少した。また、その内訳は商業実務関係が67.8%を占め、次いで家政関係19.1%、医療関係10.4%の順になっている。

図6 各種学校分野別生徒数構成比

